公表

保護者等からの事業所評価の集計結果【児童発達支援】

事業所名 聖隷こども発達支援センターからみあ

公表日 2025年 3月 24日

利用児童数 2024年9月2日現在 在籍児対象 回収数 43名 /対象53名

Table with 8 columns: Check Item, Yes, Neither, Good, Bad, Comments, Response to Comments. Rows include 'Environment/Policy Preparation' (環境・体制整備) and 'Appropriate Support Provision' (適切な支援の提供).

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	27	6	2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し交流の機会が多いほうがいい。 ・今年度から並行通園が始まり、1週間に1度幼稚園に通っています。 ・年に一度行われる幼稚園との交流は、年に2回ほどあってもいい。 ・地域のこども園との交流会が設けられています。 	地域間の交流の機会については、現在単独通園のお子さんが年に1回参加できるよう設定しています。園側より示されている頻度ですが、回数としては少ないため、他の形で交流の機会等も検討したいと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	2			<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、資料を配ってくださり説明していただく時間が設けられている。 ・毎年新年度説明会で丁寧な説明があり良い。 ・最初に説明を受けた際に、とても詳しく説明してくださいました。また、年度中でも変更や新規に受ける支援サービスなどについても都度しっかりと説明してくださいます。 	契約や利用者負担等については、内容が権限であるため、分かりやすくお知らせできるよう努めています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42			1	<ul style="list-style-type: none"> ・面談等で説明していただいている。 ・一緒に支援計画を見ながら、先生が説明をしてくださいました。 	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	4		3	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレの研修会も1部の参加のみだったため全体を対象とした研修会や講演会があったら参加したい。 ・講演会などの情報をもっと提供してほしい。 ・ペアレントトレーニングや就学についての説明会、交流会が定期的に行われています。 ・仕事をしているとなかなか平日に研修会があると参加が難しいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者座談会を定期的に開催し、職員がペアプロの視点で話をすることでサポートしています。「お子さんの、できていないように見える中にも、できていることがある」視点については、座談会だけでなく面談や送迎時に保護者様とのやりとりの中でお伝えできるようにしています。 ・職員の勉強会は定期的に開催しています。 ・家族等が参加できる行事の開催日については、平日だけでなく土曜日に行事を設定すること、また年間予定を年度始めにお知らせすることで、ご都合を合わせていただけるよう配慮しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	42	1			<ul style="list-style-type: none"> ・送り迎えの時に先生と話す機会があったり、キラキラタイムなどを取り入れてくれている為、相談しやすい環境にある。 ・帰りの時の先生からのお話、コドモンを使って共通理解ができていると思う。 ・小さなことでも話す、聞くことが大切だと思う。 ・毎日療育後に先生とお話する時間があり、とても助かっています。 ・自分の方が送り迎えに行けなかったり、発信ができなかったりしている。 ・お迎えの時、連絡帳でわかりやすく報告してもらっているため。 	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談をしています。また、何も無い時にも先生方に気軽に相談させて頂ける環境作りがなされています。 ・まだ入ったばかりなのでわかりませんが、移行の時に園や事業所など一緒に面談できたことは丁寧でよかったと思います。 	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	2			<ul style="list-style-type: none"> ・とても丁寧に職員の方から共感的に支援されていると思う。 ・どの職員の方もいつも明るく受け入れてくださり、娘も保護者もほっと出来る場所です。 	常にお子さんと保護者様に寄り添い、支援することを職員間で共有しています。聞けるお子さんや保護者様の「言葉にならない声」を拾い「何を感じ、どうしたいのか、どのようなニーズがあるのか」考える場を各クラスの振り返りやクラス会議、職場会議等で話し合う機会としています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	40	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・ピザ作り体験等のクッキング系を増やして欲しいです。本人と兄弟も一緒に参加できてとても満足していました。 ・保護者同士の交流は定期的であり、保護者同士も深まっている。イベント等も参加出来、兄弟間でも良い体験をさせていただいている。 ・今年は兄弟が参加できる機会がたくさんあり、留守番をさせることなく一緒に楽しく過ごせたりと、思い出に残り、親子共々嬉しかったです。 ・年度初めの保護者交流会、父親のみ参加の交流会など、工夫して開催していただいています。こどもが喜ぶイベントもよく開催されており、きょうだいも参加できることが多くとても嬉しいです。 	テーマを設定した座談会や、きょうだいも参加ができる行事等、ご家族のニーズに応じて設定しています。回を重ねていくことで、交流や仲間づくりにつながると思われるため、今後も継続する予定です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・急なサービス利用などに快く対応していただき感謝している。 ・要望に関してすぐに検討していただき適切な対応してくれる ・小さいことでも分からなかったり、困って質問すると、すぐ対応して下さいます。 	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	2			<ul style="list-style-type: none"> ・とくにコドモンでの情報伝達が中心であるが、使いやすい助かっている。 ・先生とお話できる時間も多く、コドモンのアプリでもやり取りができるのでとても助かっています。 ・わからないことが出てきても自分が送迎に行けず、自ら聞けないことがある。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	32	5		6	<ul style="list-style-type: none"> ・今は希望申し込み表で確認することが多いが、コドモンのカレンダーを使って行事予定をいつでも分かりやすく見ることが出来るとありがたい。 ・こまめにアプリでお知らせをして下さっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に情報発信していますが、職員含めて周知が必要と思われます。 ・コドモンの導入により、年間行事予定や訓練の様子などについては、配信して保護者様が簡単に確認できるようになりました。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要だというのは理解しているが、出入り口のインターホンに氏名やクラス名を言うように書かれているが、外でそれを言うのは個人情報の扱いの観点としては疑問に思ってしまう。 ・個人情報の取り扱いについて、不満に思ったことはありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護に関しては、毎月の職場会議等で確認し、常に意識して業務に取り組みようとしています。 ・インターホンでの氏名の確認については、防犯面と個人情報保護の観点の両面から考えて慎重に検討します。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等も行事に取り入れて定期的にしていたいている。 ・説明して下さっています。訓練についてはわかりません。 	必要なマニュアルは策定されています。今年度より、おたよりの配信等で訓練の様子を保護者様に伝えていきます。また「午睡時」「散歩時」等、様々な場面の災害発生を想定した訓練を実施し、新たな課題も見えているためその都度対策を検討しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・津波や水害に対して「縦方向の避難」についてはどのようになされるかを知りたいです。 ・定期的に避難訓練があり、しっかりと行われています。 	避難訓練の方法や内容、目的、実際の取り組みについては、今年度より写真入りの説明で保護者様に定期的な配信するようになっています。配信内容については、保護者様の声を聞き「知りたい」という情報をお知らせできるよう、毎年検討していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40		3	<ul style="list-style-type: none"> ・こども達が安全に生活できるよう、配慮されています。 	今年度より安全計画を策定しています。安全の確保についての事業所の取り組みは、保護者様にも分かりやすく伝えられるよう検討が必要だと思います。(伝え方、内容、頻度等含む)
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・事故が起きたことが無いので分かりません。 	事故発生時には、速やかに保護者様に状況説明を含めて連絡し、その後の状況についても確認しています。事業所内では事故についてのカンファレンスを実施し、要因と対策について検討、改善に努めています。基本的に半年を巨匠に評価し、対策が継続できるようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	39	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・一度も行き渋り無く登園出来ているのは先生方のお陰です。とても感謝しております。廊下ですれ違う先生も必ず笑顔で挨拶してくれて、安心感が得られます。 ・毎日楽しいようで、当日あった出来事を嬉しそうに報告してくれます。 ・迎えに行くといつも笑顔で楽しそうにしているので、安心して遊べているんだと感じています。 	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しみにしていて、担任の先生の名前を休みの日も毎日言っています。仲のいいお友達もたくさんできて楽しそうです。 ・毎回とても楽しそうに通っています。 ・かみあが大好きで、今日は何するのかな？と楽しみにしています。 ・朝からいつもハイテンションで通所しています。 ・休日でも行きたいと言うくらい楽しみたいです。 	言葉以外での表出（表情、仕草など）より「こどもの声を聴く」ことを実践しています。行き渋りを言葉や行動で示すお子さんもいらっしゃいますが、その姿を受け止め共感したり、保護者様と共有したり、アセスメントした上でかみあでの生活が楽しめるよう工夫したりしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	40	3		<ul style="list-style-type: none"> ・かみあに慣れて安心して預ける事ができてよかったです。 ・いつも丁寧な対応をしてくださり、安心して預ける事ができています。 ・大変感謝しております。子供が安心出来る居場所が出来て良かったです。 ・保育参観をぜひやってほしいです。 ・とても満足しています。 ・子どものことをたくさん先生方の目で見守ってくださり、親身になって考えてくださり、本人の支援だけではなく、家族支援もとても手厚くしてくださり本当にありがとうございます。 ・安心して預けることができるのも先生方のおかげです。 ・先生方が暖かく保護者様を支援してくださっていて、とても嬉しいです。 ・また、嬉しくて毎朝の私にも暖かい言葉をたくさんかけていただいて、とても助かっています。今後とち、どうぞよろしくお願ひいたします。 	保育参観については、家族支援としてお子様への支援を見ていただき関わり方を伝える機会を用意しています。周知の方法や、設定については工夫が必要と思われるため、検討します。 職員として、関わるお子さんや保護者様の「言葉にならない声」を拾い「何を感じ、どうしたいのか、どのようなニーズがあるのか」考える場を、各クラスの振り返りやクラス会議、職場会議等で話し合う機会としており、今後も継続する予定です。